



住みやすい町を目指して... 35

寄地区の振興と活動について

寄地区振興協議会会長 高橋 始さん(大寺宮地在住)

昭和33年に設立

寄地区振興協議会(以下「本会」)は、昭和33年(1958年)に発足し、本年で61年目を迎えました。その間、先人のたゆまざる努力の積み重ねにより、「寄」の地域振興が図られ、緑と清流の景観に恵まれた心安らぐ深山の里として発展してまいりました。

本会の組織は本部役員その他、幹事には7地区の正副自治会長、本会の下部組織の青壮年部役員が選任され、地域一体となった組織が構成されています。



毎年5月5日に開催される若葉まつり(写真は、中津川での川魚のつかみ取り)

寄地区の振興を推進

本会の目的は、寄地区の振興を推進し、地区の発展と住民の福利増進を図ることにあります。会員は、寄に住所を有する自治会会員550戸及び事業所を有する企業15社も特別会員として協働の地域づくりにご協力いただいています。

主な活動としては、①住民の要望等を集約し、関係機関への働きかけ ②行政運営に協力し住みやすい町づくりを目指す ③専門部会・部の活動強化を図る ④住民の文化的活動の啓蒙 ⑤環境美化運動の推進 ⑥各団体との連携等々ですが、設立当初から寄の将来を担う子供たちの健全な育成と成長を願い、PTAや子供

会活動に対し支援しています。

このような活動方針に則り、自主事業では、地区住民が一体となった“納涼盆踊り大会”、地区の振興に関する“行政との懇談会”、“環境美化活動”を実施している他、各団体と連携し若葉まつりや中津川河川の草刈り作業、青壮年部としては本部事業への参画や、自主事業としての美化活動、ソフトボール大会などを通じ地域住民との親睦・健康増進を図っています。

本年度の活動

本年度の活動は、本部自主事業の他、来年3月の「寄中学校閉校記念事業」への協力です。寄中学校は、戦後の混乱期の昭和22年(1947年)5月に寄村・地域関係者の並々ならぬご努力により私立中学校として建設開校され、本年で72年目を迎えました。平成31年4月の町内中学校の統合により、同年3月をもって閉校となります。

歴代の教職員、町・地域の皆様のご苦勞に改めて感謝申し上げ、地域一体となった心に残る記念事業となるよう本会員一同協力して参りたいと存じます。

これからも本会の運営につきまして、ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下記までご連絡ください。

皆さんの傍聴をお待ちしております! 第4回定例会は12月5日(水)開会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報広聴常任委員会
大館	齋藤	小澤	中野	飯田	平野由里子	
秀孝	永	啓司	博	一		

(齋藤)

今後も皆様方のご意見をいただきながら、町政発展に努力してまいりますので、よろしく申し上げます。

落ち葉が風に舞う季節となりました。日が落ちるのが早くなり、冬が駆け足で近づいてくるようです。9月の議会定例会で平成29年度決算を承認しましたが、既に来年度予算の編成作業が始まっています。議会としても、議会の透明性と公平性を確保し、住民の皆様方が期待と信頼の持てる議会活動を進めてまいります。

